

博多湾再生市民フォーラム（第五回講演会）

NPO 法人日本環境監視協会は、博多湾再生に向けた調査研究を続けています。

博多湾は漁場としてまた市民の憩いの場としてその風景は日本人古来の原風景をかたち作っています。現在は市民の生活物資を運ぶ港としての役割が大きく、潮干狩りや探鳥・散策の場としても親しまれています。しかし、大雨の後の赤潮やアオサの大量発生による悪臭に悩まされるなどの課題もあります。

この大きな原因は、都市開発による森林や田畑の消滅などにより、本来の山から海への水の流れを変えていることや、約 150 万人の生活排水からの汚濁負荷、自然海岸の消滅などが原因と言われています。そこで、環境にやさしい博多湾を取り戻そうと博多湾再生市民フォーラムの講演会を企画しました。

これまで、博多湾の再生には漁業の利用が効果的なこと（第一回）、環境行政の歴史的変遷と博多港の物流の伸びと、深掘り跡の底質改善について（第二回）、干潟・浅場の造成事例（第三回）およびNPO 法人はかた夢松原の会の活動報告（第四回）を行いました、第五回は「博多湾の海藻と藻場」を予定しております。地域の方々から多様な意見をいただき、博多湾の改善を進めていきたいと考えています。是非ともご参加頂けますようご案内申し上げます。

第五回 講演会

演題 「博多湾の現状～海の植物の視点から～」

講演者 九州大学大学院農学研究院

資源生物科学部門 教授 川口 栄男氏

講演概要

福岡市の海の玄関口である博多湾は、特に 1990 年代、夏季における赤潮の頻発、貧酸素水塊の出現、湾奥における緑藻アオサ類の大量増殖（グリーンタイド）など、水質環境がかなり悪化していたと考えられる。福岡市はその後、排水処理施設の新設、生活排水の高度処理による N、P 負荷の軽減、大量に増殖したアオサ類の除去、海域環境創造事業（一ブルー事業）など様々な環境保全対策を講じてきた結果、博多湾の水質環境は 2000 年以降徐々に改善されつつある（福岡市 2008）。しかしながら、福岡市の目指す“生物が生まれ育つ博多湾”を実現するためには、単なる水質環境の改善のみでは不十分であり、生態系全体を視野に入れた保全対策を実施し、且つその対策の有効性を検証する必要がある。本講演では、博多湾の現状を海の植物の視点から概説する。

プロフィール

昭和 62 年 3 月北海道大学理学研究科博士課程修了、昭和 62 年 6 月九州大学農学部助手に採用（同年 9 月理学博士の学位取得）専門：海産植物学（海藻・海草類の分類、生態）

日時 平成 26 年 3 月 15 日（土） 14:00～16:00

場所 福岡大学セミナーハウス A 会議室

〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松 3 丁目 4-2 0 TEL092-751-8141

主催 NPO 法人 日本環境監視協会(<http://www.npo-jews.org>)

共催 福岡大学 **後援** 国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所（申請中） 福岡市（申請中） 西日本新聞社（申請中） はかた夢松原の会 明るいまちづくり協議会

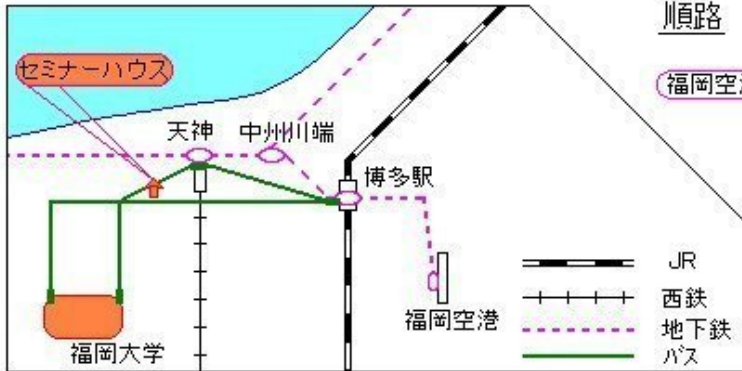
申し込みは NPO 法人日本環境監視協会宛 代表者、所属氏名 受講人数を FAX 092-406-8219 または hakatawan@npo-jews.org まで、お問い合わせ 090-5727-8219 馬場崎まで



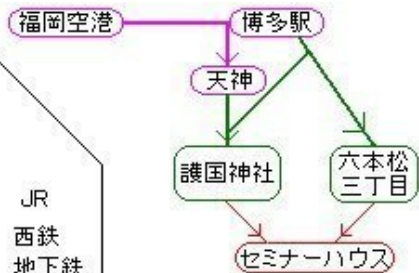
福岡大学セミナーハウス案内

Telephone:
福岡大学セミナーハウス
092-751-8141

概念図



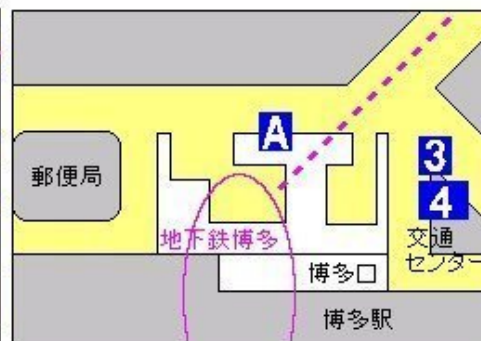
順路



天神付近案内図



博多駅付近案内図



のりば	行先番号	降車バス停	所要時間
10	12, 13, 60	護国神社	約15分
7A	7, 200番台	護国神社	約15分
	14	護国神社	約15分
天神護国神社 三越前バス停	全番号	護国神社	約12分

のりば	行先番号	降車バス停	所要時間
A	10, 11, 16, 17, 18, 19, 214	六本松三丁目	約20分
4	200番台	護国神社	約30分
3	12, 13	護国神社	約30分

セミナーハウス付近案内図

